



しかごう

四箇郷小学校

令和2年3月16日

卒業・進級おめでとう号

私の趣味は釣りです。三度の飯（めし）より好きです。ホントにつらくてしんどくて、まいてしまつてへこんだときでも、大げさですが生きていくことに疲れたときでも、「あつそうだ！俺には釣りがあるんだ」と思うと、不思議と楽になり元気になるのです。いきなりこんな話から入って不思議に思うかもしれませんね。実は本題はここから。とあるサイトからの引用です。

ご卒業おめでとう

この1年間、6年生としてたくさん頑張ってくれてありがとう。明るく、優しく、一生懸命なみんなのことを、先生たちはとっても誇らしく思います。そんなみんなの素敵なところを、今度は中学校で思う存分発揮してください！素敵な中学生として活躍する姿を楽しみにしています。
6年担任より

進級おめでとう

はじめての小学校、一人ひとりがいっしょうけんめい、みんな力いっぱいがんばりました。こころもからだも大きくなり、ともだちもたくさんできたね。みんなでうえたチューリップは、大きくそだってきています。また4月にあえるのを楽しみにしています。1年担任より

2年生のみなさん、この一年間はとうでしたか？楽しかったこと、おもしろかったこと、がんばったこと。思い出がいっぱいできましたね。この一年間で、みなさんはとても大きくなったように感じます。3年生に進級しても、今のまま、元気で、明るく、やさしいみなさんでいてくださいね。
2年担任より

友達に優しく声をかける姿、自分たちからやろうと動き出す姿に、皆さんの成長を感じました。次の学年に自信をもって進んでくださいね。4年生での活躍を期待しています。楽しい1年でした。
3年担任より

みなさん、元気に過ごしていますか。先生たちは、みなさんのいつも元気で明るいとこがとっても好きです。みなさんの素敵な笑顔で、これからも四箇郷小学校を明るく元気な学校にしていってくださいね。君たちならきっとできる！！
4年担任より

この一年間、元気にすごせましたか。「早ね・早おき・朝ごはん」はできましたか。新しい学年にむけて自分の生活をふり返り、新学期も元気な心と体でスタートしましょう。
保健室より

いつもあなた達の笑顔や歌声に元気をもらっていました。また、この四箇郷小学校に可愛い笑顔と元気な声に戻ってくるのを心待ちにしています！
専科より

新型コロナウイルスの影響で、急に休校になり、大変な毎日をお過ごしかと思います。私たちは、初めてのことで子供たちに会えない寂しさ、戸惑いと不安な毎日を過ごしています。1日も早くみんなの元気な顔が見たいです。
職員室のみんなより

皆さんは「アマゴ」と言う魚を知っていますか？サケの仲間、一生を川で過ごす魚です。私が住んでいる川は、天然のアマゴで有名です。多くの釣り人が、とても長い釣竿を使ってアマゴを釣っています。4月の今ぐらいの時期から5月にかけて旬を迎え、塩焼きにして食べるとほっぺたが落ちるほどおいしいですよ。

また、アマゴはとても縄張り意識が強い魚でもあります。川の決まった場所に自分だけの住処を持って、他のアマゴが来ると体当たりをして追い払います。当然、体の大きな強いアマゴはより広くて、えさが豊富な縄張りを持ち、中ぐらいのアマゴは少し狭い縄張りを持ちます。そして住みやすい場所は限られていますから、さらに体が小さいアマゴはほんの少ししか縄張りを持ってません。では、さらにさらに体が小さいアマゴはどうでしょう。彼らは縄張りを持つことができません。住みやすい場所は全て別の、体の大きなアマゴにとられてしまったからです。仕方なしに小さなアマゴは川を下っていきます。海へ下るわけですが、でも、アマゴの体は淡水（しょっぱくない水）で生活するようにできているので、海水（しょっぱい水）の中ではとても息苦しいわけです。海へ下ったアマゴの中には途中で命を落とすアマゴもたくさん居ます。

こうしてやっとの思いで海へ下った小さなアマゴは、広い海で大きな縄張りを持つことができます。つらい海水のなかで懸命に努力するわけですね。広い縄張りとお豊富なえさのおかげで、海へ下った小さなアマゴの体はぐんぐんと成長します。そして、川で広い縄張りを持っていた大きなアマゴよりもさらに体が大きくなったころ、深緑色だった鱗がなんと銀色に変わります。全身が銀色のうろこに包まれた大きなアマゴは「サツキマス」と呼ばれるようになります。かつて体が小さかったアマゴは、数々のつらい事苦しい事を乗り越えて大きく成長しサツキマスになりました。いつもいつも楽に成長できるわけではありません。

これは人間でも一緒です。今までよりも難しい問題にチャレンジするとき、新しい友達と最初に会話するとき、通う学校が変わったとき……。つらいと思うことがあるかもしれません。しかしつらいと思うことを乗り越えようとがんばっている時に、人は一番成長します。つらい事から逃げずに努力を続けることが一番大切なことだと私は思います。

最後にサツキマスの話をもう少ししましょう。海へ下ってサツキマスになったアマゴは、ある時期に故郷の川へ帰ります。そうすると、川にずっと住んでいたアマゴは体の大きさにびっくりして尻尾を巻いて逃げ出します。こうして小さかったアマゴはサツキマスとなって、最後には一番大きな縄張りを得ることになるわけです。
[あんな話こんな話 今週の朝礼(<https://www.nohkai.ne.jp/tyorei/?p=1442>)より引用]

普通に当たり前のように生活できる幸せを大切にしたい。今更ながらにそう感じています。今のこの閉塞感（へいそくかん：閉じふさがっている感じ）。先の見えない不安。理由のない立ち。「なぜ？…」という思いでいっぱいです。しかし今、あえて私から言いたいこと。この試練（しれん：実力・決心・信仰の程度をきびしくためすこと）は、みなさんが乗り越えられるからこそ与えられたということ。

頑張れと言いません。共に踏ん張りましょう。
学校長 上田 仁

学年だよりのタイトルになっている「Step by step」は「一歩一歩」、「着実に」という意味があります。5年生で一年間一歩一歩成長を続けてきた君たちも、少しずつ最高学年としての自覚を持ち、この四箇郷小学校を引っ張っていってくれることを期待しています。
5年担任より

色々なことに挑戦していこうとする皆さんの姿に成長を感じました。みんななら大丈夫！自分を信じて挑戦し続けてください。応援しています！！
なかよし担任より

おいしい給食を食べてもらう日を楽しみにしています。卒業生にはおすすめ給食レシピをプレゼントします。小学校の給食の味を忘れないでね！
給食室より

